



## 科目「SSH研究Ⅰ」で「基礎スキル演習」を実施しました

理数科1年生の科目「SSH研究Ⅰ」で、11月28日(木)、12月5日(木)、12日(木)に、「基礎スキル演習」を実施しました。生徒は、理科教員の指導による6つの講座を受講し、研究活動に取り組む上での基本的な心構えやスキルを学習しました。この単元で学んだことを2年次の課題研究に活かしてほしいと思います。



「研究活動の流れ」(實松先生)



「安全な化学実験①」(嘉村先生)



「先行研究を理解する重要性」(二村先生)



「実験計画と記録」(木村先生)



「安全な化学実験②」(遠藤先生)



「研究のためのモラルとマナー」(梶田先生)

## 「中高生のための学会『サイエンスキャッスル』2019九州大会」に参加しました

12月8日(日)に、熊本市で「中高生のための学会『サイエンスキャッスル』2019九州大会」が開催されました。九州・山口各県の高校等から参加があり、口頭発表とポスター発表がなされました。本校からは、科学部が「バナナが成熟する理由」の研究で、科目「SSH研究Ⅱ」の物理分野の2班が「タイヤの幅と水しぶきの飛距離の関係」と「吸音効果の良い壁を作ろう」の研究で、それぞれポスター発表をしました。参加したそれぞれの班は、「研究奨励賞」を受賞しました。

## 「Jr. 課題研究中間発表会」が開催されました

12月13日(金)に、中学3年生による「Jr.課題研究中間発表会」が実施されました。19の班が、4月から総合的な学習の時間の学習活動として取り組んできた研究活動をポスターセッション形式で発表しました。この学習で学んだ、自分達で設定した仮説を実験によって検証するという研究の基本的な「型」を、高校での課題研究や探究活動に活かしてほしいと思います。

